

契約変更理由書

神戸市

業 務 名	摩耶大橋舗装改修工事
工事概要 (設計変更) 変更後工事概要 舗装改修工（鋼床版区間） 1030m ² 、舗装改修工（RC 床版区間） 1400m ² 、 舗装改修工（スラグ路盤区間） 1260m ² 、安全対策工 1 式	
契約変更の理由 (設計変更) <ul style="list-style-type: none">● 当初は工事範囲である片側車線のみの測量を想定していたが、舗装補修を実施するにあたり、反対側車線についても測量を行い、両車線を一体的に計画する必要が生じた。これにより、測量調査（追加範囲）が追加となる。● 当初は大型切削機での路面切削を想定していたが、端部や中央分離帯の構造上、大型切削機では路面切削が困難な箇所があることが判明した。大型切削機での路面切削が困難な箇所については小型切削機を併用して切削を行う。よって舗装改修工が増額となる。● 舗装改修工について、切削の際に既設の視線誘導標が支障になることが判明した。そのため既設の視線誘導標を撤去したうえで切削し、舗装後に復旧する必要がある。これにより、舗装改修工が増工となる。● 警察との協議の結果、当該路線の交通状況および周辺環境を踏まえ、安全性の確保を図るため、ガードレール設置および区画線設置が必要となった。さらに、協議を進める過程において、新たに車線分離標の設置等の対策が必要と判断された。これにより、安全対策工が増額となる。● 当初は 5 人/日で設計していたが、関係者各所との調整の結果、8 人/日～12 人/日に計画が変更となった。また、上記の追加工種により施工日数が増えるため更なる交通誘導警備員の増員を要する。これにより、付帯工が増額となる。● その他、現地数量精査の結果による。	